

活動報告タイムテーブル

- ・開会、閉会につきましては全発表通して 201 教室で行いますので、集合していただくようお願いします。
- ・活動報告は 4 会場に分かれて実施いたします。会場は出入り自由ですので、好きな会場に移動しながら発表をお聞きください。

受付 12:30	メイン会場 201 教室	A 会場 205 教室	B 会場 206 教室	C 会場 207 教室
13:00		13:00 開会・開催趣旨説明 (201 教室)		
		13:30-13:45 1 旅ムサステイ in 長崎	13:40-13:55 1 やってみたい! 映像!	13:30-13:45 1 ~まほうのくにへようこそ!~ キラキラ☆マジカルカプセル
		13:45-14:00 2 旅ムサステイ in 鳥取	13:55-14:10 2 チームけやき	13:45-14:00 2 小平市小川用水応援団
14:00	14:10-14:30 I 石岡市 地域おこし協力隊			
		14:35-14:50 3 カリ美企画	 14:45-15:00 3 メモリーミックス ~世界中の記憶と出会う~	14:35-14:50 3 旅するムサビ in 長野県茅野市立米沢小学校
		14:50-15:05 4 にじがふる	15:00-15:15 III おおむら・あまみ 国際学生映画祭	14:50-15:05 4 絵画の義民展
15:00	15:15-15:35 IV 朝鑑賞からはぐむ学び			
		15:40-15:55 5 旅ムサステイ in 中札内村	15:35-15:50 4 アール・ブリュットパフォーマンス in 立川駅西地下道 (仮)	15:40-15:55 5 つながればぐらの 3・3・3
		15:55-16:10 6 旅ムサステイ in 訓子府町	15:50-16:05 5 旅するムサビ in 台湾	15:55-16:10 6 まちで楽しむ
16:00	16:15-16:30 II 福島県柳津町 地域おこし協力隊		16:05-16:20 6 School Art Project ムサビる! 2017	
	16:30-17:00 鼎談「美大生と地域：発表会を通して見えてくるもの」(201 教室) 齋藤啓子教授 (視覚伝達デザイン学科) × 鈴木明教授 (建築学科) × 三澤一実教授 (共通デザイン・教職課程)			

懇親会のご案内

発表会終了後の 17:30 より、12 号館 8 階談話室にて懇親会を行います。
どなたでも参加いただけますので、ぜひお越しください!

ムサビの
ワークショップ
発表会 2017

美大生と地域

2017 年 11 月 3 日 (金・祝) 13:00-17:00 (受付 12:30-)
武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 2 号館 2 階

武蔵野美術大学では、学科・学年の枠を超え、様々な場所や地域で数多くのワークショップを実施しています。この、
本学の特徴であり、強みでもある学生企画のワークショップについて、厳選されたグループが活動の成果や気づきを
発表します。詳しい情報は大学ホームページをご覧ください。(<http://www.musabi.ac.jp>)

入場無料・事前予約不要

武蔵野美術大学



A会場 205教室



1 旅ムサステイ in 長崎 旅するムサビ in 長崎チーム

長崎県大村市徳泉川内町の山の中にある「市民参加型のふれあいの場」として作られた「おおむら里山村」で小学校低学年の子供達を対象に行った、子供達が想像する未来の里山村の模型を木くずや廃木材で作るワークショップ。



2 旅ムサステイ in 鳥取 紙コップワークショップ 旅するムサビ in 鳥取チーム

今年の夏に鳥取県大山町、中山みどりの森保育園で紙コップ 1 万個を使用したワークショップを行いました。「紙コップで街を作ろう！」というテーマのもと、エネルギーで素敵な作品が出来上がりました。最後にライトの「魔法」をかけ、鑑賞会を行いました。



3 カリ美企画 カリ美企画

カリ美企画とは、カリタス女子中学高等学校美術科教科スペースを武蔵野美術大学教職課程履修者の有志で盛り上げようという企画です。「美術を身近に」をテーマに様々な企画を展開しています。2008 年から活動が始まり、今年で9 年目を迎えます。



4 にじがふる 吉崎徳望（日本画学科4 年）

東村山市内の小学校教員と武蔵美生の有志が協力して同市立萩山小学校の3年生を対象に図画工作科の研究授業を7つ開設しました。そのなかの「にじがふる」という授業題材の取り組みと成果について発表します。



5 旅ムサステイ in 北海道中札内村 旅するムサビ in 北海道中札内村チーム

中札内村の小中学校 3 校で、ワークショップ、サポートティーチャー、黒板ジャック、対話型鑑賞を行いました。アルバイトや自炊、地元住民の方との交流など、アートを通じて「中札内村」を体感した13 日間。



6 旅ムサステイ in 北海道訓子府町 旅するムサビ in 北海道産訓子府町チーム

北海道の訓子府町にて 4 日間の活動。社会人向け対話型鑑賞・中学生向け対話型鑑賞、黒板ジャック（小学校 2 枚・中学校 6 枚）を実施しました。今回北海道初めての黒板ジャックや旅ムサ初の社会人向け対話型鑑賞の活動内容を中心にご紹介いたします。



石岡市 地域おこし協力隊

発表：201 教室

本学卒業生

在学中から「アートサイト八郷」の活動で石岡市と関わってきた4 名が、4 つの分野（中心市街地活性化・観光交流・農林業・移住定住）をそれぞれに担当し課題に取り組むと同時に、連携を取って分野を横断した活動を展開しています。



福島県柳津町 地域おこし協力隊

発表：201 教室

宮本美貴（日本画学科3 年）

武蔵野美術大学の日本画学科で学びながら、福島県河沼郡柳津町の地域おこし協力隊として「やないつ町立斎藤清美術館」に勤めています。美術館にて公開制作を行っているほか、地元の方と交流しながら、ワークショップや、展覧会などを企画しています。

B会場 206教室



1 やってみたい！映像！ 鈍ら派

放送部に所属する高校生たちへ、映像作品をつくる際に役に立つ表現、効果、その例を紹介した。そして一方的な講義式ではなく、観客の反応で内容が変わり進むインタラクティブ・ライブ形式で行なった。



2 チームけやき 視覚伝達デザイン学科 環境クラス

チームけやきでは、軽度知的障害のある18～50 歳の人を対象に、工作ワークショップを行いました。障害があるって、一体どういうことなのか。そこで生まれるコミュニケーションって何だろうか。障害のことをじっくり考えて作ったワークショップ。



3 メモリーミックス ～世界中の記憶と出会う～ 視覚伝達デザイン学科 4 年齋藤ゼミ公開授業

参加者は多国籍でした。皆は絵で自分の子供時代の1 日を表現して、その1 日が他人と入れ替わります。入れ替わった内容を自分の人生として、ストーリーで繋げて紹介します。その解釈と本当の意味のズレから、国の差異や共通点、また個人の特徴が見えてきます。



4 アール・ブリュットパフォーマンス in 立川駅西地下道(仮)

ワークショップ実践研究有志 × 立川市

立川市では、市民団体が2015 年から展覧会「アール・ブリュット立川」を開催しています。「生の芸術」と言われるアール・ブリュットを身近なものにしようと、地域のみさんと協力して立川駅西地下道をアートの力で生まれ変わらせるワークショップを、現在企画中です。



5 旅するムサビ in 台湾 台湾組

小中学校にて対話型鑑賞の授業を実施したほか、國立台北藝術大學、国家教育研究院などを訪れ様々な交流を行いました。旅ムサが台湾を訪れたのは、2016 年3 月の活動に続き2 度目となります。そのほか、現地の視察を行い、台湾の美術や食などの文化に触れました。



6 School Art Project ムサビる！2017 ムサビる！

ムサビる！は美大生の作品で中学校を美術館に作り変えてしまおうという、真夏のアートプロジェクトです。今年のテーマは「好きをつめこめ」。美大生の好きがつめこまれた絵画や彫刻作品の展示、インスタレーションやワークショップなどが行われました。



おおむら・あまみ国際学生映画祭

発表：206 教室

文化芸術アソシエイツ人材育成プログラム研修生

来春開催予定の「おおむら・あまみ国際学生映画祭」に先立ち、映像文化の普及を見据えた企画を実施した。地域の小中学生を対象に、それぞれの地域の魅力を再発見し発信する手立てとして映像制作の一連の過程を体験してもらうワークショップとなった。

C会場 207教室



1 ～まほうのくにへようこそ！～ キラキラ☆マジカルカプセル ちびくろの学生、その他有志

受付で魔法使い見習いのバッジをもらい、池で魔力の依り代のカプセルをもらい、まりよくの泉で魔力をもらって”まほうのどうぐ”を作り最後には、洞窟で悪い魔法使いを作った”まほうのどうぐ”を武器に戦い、倒す、というワークショップ。



2 小平市小川用水応援団 小平市市民活動支援公募事業 小平市小川用水応援団

小平市小川用水応援団は、小川用水をはじめとする今に伝わる小平の緑地・農地・用水・上水への学びや散策、ふれあいを通じて、子ども・学生・若い世代の関心と知見を高めるために武蔵野美術大学鈴木研究室の学生が中心となって立ち上げた団体です。小平市固有の文化と環境と生活を現在に伝え広め、将来的には再構築できる方向性を模索することを目的としています。



3 旅するムサビ in 長野県茅野市立米沢小学校 旅するムサビ in 米沢小チーム

普段の授業から美術的活動を取り入れている米沢小学校。そんな米沢小学校の子供たちに「対話型鑑賞」を行ったのだが、美術的センスが光る子供たちが作品を鑑賞して語った事は、私たちの想像を上回ったものだった……。果たして、子供たちが語った事とは……？



4 絵画の義民展 旅するムサビ in 長野県青木村チーム

この企画は、「旅するムサビプロジェクト」の一環として長野県の青木村と交流していく中で生まれました。青木村の英雄である「義民」をテーマにした展覧会で、武蔵美の学生10 名で集い、青木村郷土美術館で8 月1 日から20 日まで作品を展示しました。



5 つながればくらの3・3・3 視覚伝達デザイン学科 十二小チーム

今年の3 月にムサビ構内に開通された小平都市計画道路3・3・3 号線をテーマに、昨年度の9 月から3 ヶ月間、十二小の4 年生と図工の授業を行いました。さらに、その連携授業で作成した作品を使って実際の開通式においてミニパレードを行いました。



6 まちで楽しむ5 こだプロ

私たちは小平市に通う学生同士の連携・交流を目的として活動しています。これまでに、他校の学生と交えての交流会や地域資源を見つけるためのまち歩きなどを企画してきました。今回は2017 年5 月に開催された「まちで楽しむ」について発表します。



朝鑑賞からはぐくむ学び

発表：201 教室

所沢市立三ヶ島中学校

対話をしながら作品を鑑賞する活動を、授業が始まる前、朝の学習の時間に行うのが「朝鑑賞」です。週に1 度、各学級の担任の先生がファシリテーターとなり鑑賞を行います。中学校の全教員が取り組んでいる活動です。活動を継続することで、様々な成果が見えてきました。

報告会場の通路にて、報告内容に関するパネルの展示や、「地域」をテーマにした産官学共同プロジェクトご紹介を行っています。こちらも合わせてご覧ください。